

2020年7月実施

# 農業経理士® 称号認定試験

— 第1回 —

経営管理

## 注意事項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
  - ・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
  - ・電卓（基準に適合したものに限り。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来す行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、1時間30分（90分）です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、問題25問まで掲載しており、1頁から15頁まで印刷しています。試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
  - ※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 特定非営利活動法人 日本プロ農業総合支援機構

※“農業経理士®”は、一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会の登録商標です

**問題1** 以下の〔資料〕に基づいて、各問に答えなさい。

〔資料〕

1. A法人の貸借対照表（×3年3月31日）（単位：千円）

流動資産	現金預金	1,400	流動負債	買掛金	2,200
	売掛金	880		預り金	120
	棚卸資産	220		未払法人税等	240
	その他流動資産	190		短期借入金	800
	流動資産合計	2,690		流動負債合計	3,360
固定資産	建物・構築物	2,200	固定負債	長期借入金	8,630
	機械装置	13,000	純資産	出資金	10,000
	工具器具備品	2,200		繰越利益剰余金	3,400
	減価償却累計額	-5,200		純資産合計	13,400
	土地	10,500			
	固定資産合計	22,700			
	資産合計	25,390		負債純資産合計	25,390

2. A法人の損益計算書（×2年4月1日～×3年3月31日）（単位：千円）

売上高	12,000
売上原価	7,300
売上総利益	4,700
販売費および一般管理費	
役員報酬	800
給料手当	550
福利厚生費	320
水道光熱費	110
租税公課	30
消耗品費	10
減価償却費	900
営業利益	1,980
受取利息	240
支払利息	900
経常利益	1,320
法人税（30%）	396
当期純利益	924

**問1** [資料]に基づいた場合、総資本経常利益率は（ 1 ）%となる。（なお、%以下第3位を四捨五入し、%以下第2位までを算定する。）

[1の選択肢]

- |         |          |         |
|---------|----------|---------|
| 1. 3.64 | 2. 5.20  | 3. 7.80 |
| 4. 9.85 | 5. 18.51 |         |

**問2** [資料]に基づいた場合、売上高経常利益率は（ 2 ）%となる。（なお、%以下第3位を四捨五入し、%以下第2位までを算定する。）

[2の選択肢]

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 3.30  | 2. 7.70  | 3. 11.00 |
| 4. 16.50 | 5. 39.17 |          |

**問3** [資料]に基づいた場合、総資本回転率は（ 3 ）回となる。（なお、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを算定する。）

[3の選択肢]

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1. 0.47 | 2. 0.90 | 3. 1.12 |
| 4. 2.12 | 5. 9.09 |         |

**問4** [資料]に基づいた場合、流動比率は（ 4 ）%となる。（なお、%以下第3位を四捨五入し、%以下第2位までを算定する。）

[4の選択肢]

- |           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 67.86  | 2. 73.51  | 3. 80.06 |
| 4. 124.91 | 5. 147.37 |          |

**問5** [資料]に基づいた場合、固定長期適合率は（ 5 ）%となる。（なお、%以下第3位を四捨五入し、%以下第2位までを算定する。）

[5の選択肢]

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 59.03  | 2. 97.05  | 3. 103.04 |
| 4. 169.40 | 5. 263.04 |           |

**問6** [資料]に基づいた場合、売上高現預金比率は（ 6 ）%となる。（なお、%以下第3位を四捨五入し、%以下第2位までを算定する。）

[6の選択肢]

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 11.67 | 2. 19.18 | 3. 22.42 |
| 4. 28.00 | 5. 36.85 |          |

**問題2** 以下の〔資料〕に基づいて、各問に答えなさい。

〔資料〕

売上高	80,000,000 円
付加価値額	48,500,000 円
総資本額	392,000,000 円
有形固定資産	56,000,000 円
人件費	32,000,000 円
従業員数	8名

**問1** 〔資料〕に基づいた場合、労働生産性は（ 7 ）円となる。（端数が生じる場合には、円未満を四捨五入すること。）

〔7の選択肢〕

1. 4,000,000                      2. 6,062,500                      3. 7,000,000  
4. 10,000,000                      5. 49,000,000

**問2** 〔資料〕に基づいた場合、付加価値率は（ 8 ）%となる。（なお、%以下第3位を四捨五入し、%以下第2位までを算定する。）

〔8の選択肢〕

1. 40.00                              2. 57.14                              3. 60.63  
4. 65.98                              5. 86.61

**問3** 〔資料〕に基づいた場合、付加価値労働分配率は（ 9 ）%となる。（なお、%以下第3位を四捨五入し、%以下第2位までを算定する。）

〔9の選択肢〕

1. 40.00                              2. 57.14                              3. 60.63  
4. 65.98                              5. 86.61

**問題3** 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は10とする。

- ア. 青色申告決算書を組み替えるにあたり、「普通預金」の中に当座貸越や営農貸越といったマイナスの口座残高が存在する場合には、組み替え後においても貸借対照表の「現金預金」勘定の減額項目として処理する。
- イ. 青色申告決算書を組み替えるにあたり、「未収穫農産物」は貸借対照表流動資産の「製品」へ組み替える。
- ウ. 青色申告決算書を組み替えるにあたり、過年度の農畜産物の価格下落等に対する補填金は、損益計算書特別利益の「経営安定補填収入」に組み替える。
- エ. 青色申告決算書を組み替えるにあたり、「専従者給与」については、生産業務に従事する専従者に係るものは製造原価の労務費の「賃金手当」に組み替え、販売業務に従事する専従者に係るものは損益計算書の販売費及び一般管理費の「給料手当」に組み替える。

[10の選択肢]

- 1. アイ
- 2. アエ
- 3. イウ
- 4. イエ
- 5. ウエ

**問題4** 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は11とする。

- ア. 資本回転率は、資本が効率的に運用されているかを示すものであり、資本回転率が良好であれば、資本効率が上がり収益性が高まる。また、資金繰りの改善によって債務支払能力も高まるため、資本回転率は収益性と安全性の両方に作用するといわれる。
- イ. 売上高材料費比率は、売上高に対する材料費の比率であり技術力の水準がわかるものである。この指標は、技術指標でありながら作付面積などの生産データがなくても決算書データのみから算出できる点でユニークである。
- ウ. 自己資本比率は、総資本に対する自己資本の割合であり、その割合が低いほど経営の安定性が高いことを示す。
- エ. 生産単位当たり労働時間は、一定の生産単位（10a、1頭など）当たりの労働時間を示す指標であり、値が大きいほど技術水準が高いことを示す。

[11の選択肢]

- 1. アイ
- 2. アエ
- 3. イウ
- 4. イエ
- 5. ウエ

**問題5** 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は12とする。

- ア. 有利子負債月商比率とは、月商に対して何か月分の有利子負債（銀行借入、社債）を抱えているかを示す指標であり、当該数値が高いほど安全性は低いとされる。
- イ. 営業キャッシュ・フロー対投資キャッシュ・フロー比率は、営業キャッシュ・フローで投資キャッシュ・フローをどの程度賄えるかを示す指標であり、一般的に100%未満が望ましいとされる。
- ウ. 付加価値は売上高から外部購入費用を控除したものであり、賃金手当、法定福利費、役員報酬は付加価値を構成するものであるため、外部購入費用ではない。
- エ. 売上高の増減額は、数量差異額と価格差異額に分解することができる。当年度数量と前年度数量の差に前年度単価を乗じたものが価格差異額、当年度単価と前年度単価の差に当年度数量を乗じたものが数量差異額となる。

[12の選択肢]

- 1. アイ
- 2. アエ
- 3. イウ
- 4. イエ
- 5. ウエ



**問題6** 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は13とする。

- ア. リスクマネジメントの手法としては、リスクを構成する要素としての原因に働きかけるリスクファイナンスと、その結果に働きかけるリスクコントロールが存在する。リスクファイナンスの手法としては、リスク低減技術の導入や圃場・農場の分散、品種・作物の選択、経営の複合化などが考えられる。リスクコントロールの手法としては、農業共済への加入などが考えられる。
- イ. 農業共済（NOSA I制度）は地震を含めたすべての自然災害が対象になっているほか、病虫害、鳥獣害や火災も補償対象となっており、対象品目に限定がないため、農業経営全体をカバーすることができる。
- ウ. 耕種農業におけるリスク低減技術の導入としては、水稻の深水管理による低温障害の防止、大豆など転作作物のブロックローテーションによる雑草繁茂などの連作障害の防止、防護柵設置による鳥獣害の防止などがあげられる。
- エ. 畜産農業におけるリスク低減技術の導入としては、靴底消毒の徹底、オールイン・オールアウト（総入れ替え）方式による飼育管理による疾病予防などがあげられる。

[13の選択肢]

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1. アイ | 2. アエ | 3. イウ |
| 4. イエ | 5. ウエ |       |

**問題7** 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は14とする。

- ア. 農産物は出荷時期によって大きく価格が変動するため、出荷時期を分散させることによって価格低下のリスクを分散することができる。販売時期の調整では、作期を調整するのが一般的な方法であるが、出荷時期を調整するために鮮度保持が可能な保冷庫を活用する場合もある。
- イ. 価格低下リスクへの対応として、生産物の価格が安定している作物や価格安定制度などによって補填が受けられる作物を栽培する方法がある。水稻では、需給の状況によって価格が変動する飼料用米から、水田活用の直接支払交付金によって収入の大半が保証される主食用米への転換が考えられる。
- ウ. 日本農業法人協会が提供する食品あんしん制度は、農業法人が製造・加工販売する食品、未加工農産物（卵を含む）について、異物混入や基準を超える残留農薬の検出等が発生した場合に、消費者に身体障害が発生したことにより法律上の賠償責任を負担したことによる損害、また身体障害が発生したり、その恐れが生じたりした場合に負担する各種の費用損害に対し保険金を支払う制度である。
- エ. 労働者を雇用する場合、農業法人であっても個人農業であっても雇っている人数にかかわらず労災保険への加入が義務付けられている。また、本来労働者ではないため加入義務のない農業者本人も特定農作業従事者や指定農業機械作業従事者、中小事業主等として、特別加入という形で労災保険に任意加入が可能である。

[14の選択肢]

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1. アイ | 2. アエ | 3. イウ |
| 4. イエ | 5. ウエ |       |

**問題8** 以下の〔資料〕に基づいて、各問に答えなさい。

〔資料〕

1. 稲作に関して

- (1) 10a 当たりの収量を増やすよりも品質向上を優先して、10 a 当たり収量は現状のままである。
- (2) 作付面積は×1年度から2ha ずつ拡大していく。
- (3) 販売単価の上昇は見込めないものの、品質向上と販売努力で最低限の現状価格(200 円/kg) を維持することを目指す。

2. 野菜αに関して

- (1) 農水省や都道府県の統計をもとに予算を組んだ。
- (2) 0.5ha のハウス5棟での試験的な栽培開始、年4回転を目標(面積0.5ha×5×4=10ha) とする。
- (3) 初年度から収量は見込めないため、初年度は理論値(600 kg/10 a) の60%、×2年度は70%、×3年度は80%と想定。×4年度、×5年度は理論値通りを予定する。
- (4) 販売単価は1 kg当たり150 円で変化しない。

売上計画表

作 目	項 目	×1年度	×2年度	×3年度	×4年度	×5年度
稲 作	収量 (kg/10a)	450				
	面積 (ha)	18				
	生産量 (kg)	81,000				
	販売単価 (円/kg)					
	売上高 (千円)		( 16 )		( 18 )	
野菜α	収量 (kg/10 a)					
	面積 (ha)					
	生産量 (kg)					
	販売単価 (円/kg)					
	売上高 (千円)					( 19 )
合 計	売上高 (千円)	( 15 )		( 17 )		( 20 )

**問1** 空欄（ 15 ）に入る金額を以下の選択肢から選びなさい。

[15の選択肢]

- |           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 1,620  | 2. 2,160  | 3. 5,400 |
| 4. 16,200 | 5. 21,600 |          |

**問2** 空欄（ 16 ）に入る金額を以下の選択肢から選びなさい。

[16の選択肢]

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 1,800  | 2. 6,300   | 3. 18,000 |
| 4. 24,300 | 5. 180,000 |           |

**問3** 空欄（ 17 ）に入る金額を以下の選択肢から選びなさい。

[17の選択肢]

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 2,700  | 2. 7,200  | 3. 19,800 |
| 4. 27,000 | 5. 48,000 |           |

**問4** 空欄（ 18 ）に入る金額を以下の選択肢から選びなさい。

[18の選択肢]

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| 1. 21,600  | 2. 30,600  | 3. 90,000 |
| 4. 216,000 | 5. 306,000 |           |

**問5** 空欄（ 19 ）に入る金額を以下の選択肢から選びなさい。

[19の選択肢]

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 900    | 2. 9,000  | 3. 32,400 |
| 4. 60,000 | 5. 90,000 |           |

**問6** 空欄（ 20 ）に入る金額を以下の選択肢から選びなさい。

[20の選択肢]

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 3,240  | 2. 9,000   | 3. 23,400 |
| 4. 32,400 | 5. 324,000 |           |

**問題9** 以下の〔資料〕に基づいて、各問に答えなさい。

〔資料〕

1. 年次資金繰表（単位：千円）

	×1年度	×2年度	×3年度
税引前当期純利益	6,200	4,200	11,040
減価償却費			
法人税等の支払額（前期の税金）	2,800		
消費税等の支払額	620	640	720
固定資産の取得			
借入金による資金調達			
借入金の返済			
支払利息			
期首現預金残高（＝前期末現預金残高）	200		
当期現預金増減			
期末現預金残高	（ 21 ）	（ 22 ）	（ 23 ）

2. 年次資金繰表作成のための資料

- （1）固定資産 25,000 千円の取得の為に、金融機関から×1年度期首に 25,000 千円を借入れる。
- （2）新規固定資産 25,000 千円は×1年度期首に事業の用に供しており、耐用年数 10 年、残存価額ゼロ、減価償却は定額法で計算する。その他に旧設備の減価償却費が 3,500 千円毎期発生する見込みである。
- （3）借入金 25,000 千円は、据置期間は設けず、5年間で均等返済する。利息は、期首残高に対し年利 2% で毎年支払うことになる。
- （4）期首・期末の棚卸資産はゼロである。
- （5）売掛債権、仕入債務等その他の情報については便宜的に考慮外とする。
- （6）法人税等の支払額は、前期税引前当期純利益の 30% を計上する。

**問1** 空欄（ 21 ）に入る金額を以下の選択肢から選びなさい。

[21 の選択肢]

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 2,300 | 2. 3,280 | 3. 3,480 |
| 4. 5,780 | 5. 9,760 |          |

**問2** 空欄（ 22 ）に入る金額を以下の選択肢から選びなさい。

[22 の選択肢]

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. 2,300 | 2. 3,280  | 3. 3,480 |
| 4. 5,780 | 5. 15,540 |          |

**問3** 空欄（ 23 ）に入る金額を以下の選択肢から選びなさい。

[23 の選択肢]

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. 3,280 | 2. 3,480  | 3. 5,780 |
| 4. 9,760 | 5. 15,540 |          |

**問題 10** 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は **24** とする。

- ア. 6次産業化の成功のための最大のポイントは、新たに進出する2次産業または3次産業の事業が、単体の事業として成り立つものであることである。
- イ. 農地を所有している農業法人が6次産業化に取り組む場合、農地所有適格法人の要件を満たす範囲内での活動に制限されるというデメリットがある。
- ウ. 短期経営計画の作成にあたって、栽培作目の選定に際しては、収益力の高い作目を優先的に選定することになる。収益力の高い作目とは、販売単価の高い作目のことである。
- エ. 収入保険においては、補てんの基準となる基準収入は、農業者の過去5年間の平均収入を基本としている。農業者が当年の経営面積を過去よりも拡大する場合、基準収入を上方修正する仕組みにはなっていない。

[24 の選択肢]

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1. アイ | 2. アエ | 3. イウ |
| 4. イエ | 5. ウエ |       |

**問題 11** 以下の文章のうち、誤っている文章の組み合わせを一つ選びなさい。なお、マークシートの問題番号は 25 とする。

- ア. 短期利益計画を作成する際には、変動損益計算書を作成する。変動損益計算書は、変動益（売上高）から変動費を控除して限界利益を計算し、限界利益から固定費を控除して利益を算出する。
- イ. 一般的に売上高の増減に応じて増減するかどうかで変動費と固定費を区分するが、農業では作況や市況によって売上高が変動するので、変動費に該当するのは販売手数料だけになってしまう可能性が高い。そのため、農業経営では売上高のかわりに生産規模を基準として原価要素を変動費と固定費に分解することが有用なことが多い。
- ウ. 変動益とは、生産規模の増減に応じて比例的に増減する収益をいい、変動益には営業収益に属する項目が含まれるが、水田活用の直接支払交付金などの「作付助成収入」は含まない。
- エ. 売上高材料費比率は、売上高に占める材料費の割合を示す指標であり、値が大きいほど技術水準が高いことを表していると考えられる。

[25 の選択肢]

- 1. アイ
- 2. アエ
- 3. イウ
- 4. イエ
- 5. ウエ